

講義名称	児童家庭福祉	担当教員名	茂木 健司
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の本質・目的 (EG) 必修	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMEG1103

授業のキーワード	児童家庭福祉の基礎理念、現代社会と子どもを巡る諸問題、児童家庭福祉政策
授業の概要	児童家庭福祉の理念や法制度、現場で直面している今日的な課題などを取り上げ、保育者として必要となる基礎的事項をバズセッションやロールプレイなどを取り入れ、アクティブラーニングを行います。
期待される学習成果 (目標)	1 他職種と協働できる保育士としての基礎意識を得ます。 2 特に困難な状況におかれた子どもやその家庭への支援について、保健・医療・教育・司法など多角的にとらえられるようにします。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	ガイダンス、受講上の留意点	スケジュールなど全体の枠組みの確認 バズセッションやロールプレイなど学びの方法を確認
2	現代社会における意義と歴史の変遷	児童家庭福祉の理念と概念、児童家庭福祉の歴史の変遷、現代社会と児童家庭福祉について
3	子どもの貧困と一人親家庭	児童家庭福祉の根本的対応としての子どもの貧困と一人親家庭について 実情と支援について
4	児童家庭福祉と保育	児童の権利擁護としての児童家庭福祉、児童家庭福祉の一分野としての保育について
5	児童家庭福祉の制度と実施体系	児童家庭福祉の制度と法体系、行財政と実施機関、児童福祉施設、専門職・実施者について
6	児童相談所の現代的役割と課題	児童相談所の歴史の変遷と現代社会における役割と課題について事例の紹介
7	児童虐待とドメスティックバイオレンス	児童虐待の定義、被虐待児童の特質、虐待の発見のポイントについて
8	児童虐待とドメスティックバイオレンス	虐待ケースに対してその支援方法について、虐待者への支援と被虐待児童への支援について
9	社会的養護 1	児童養護施設の歴史と現状、および社会的養護の体系について
10	社会的養護 2	社会的養護の元で暮らす子どもの危機とその対応を理解し、社会的養護の将来展望について
11	非行児童への対応	触法行為、虞犯行為におよぶ子どもをどう理解すべきかを学び、支援方法を法や制度面について
12	障がいとともに生きる子どもへの対応	障がいを3つのレベルで理解し、支援制度について学ぶ。
13	地域における要保護児童対策	「要保護児童地域対策協議会」の現状と課題について理解し、他職種との連携について
14	世界の子どもの児童家庭福祉の将来展望	世界の子どもの実情と今後の児童家庭福祉制度のあり方、将来展望を議論・考察。
15	まとめとふりかえり	まとめと振り返りを行い、自身の今後の学習課題の明確化を目指す。また、レポートの説明。

定期試験	児童家庭福祉全体の理解を問い、自身の今後の学習課題を明確にするレポートを求める。
評価方法	学期末のレポート50%、授業貢献度（授業態度、事例検討への参加、小レポート等）50%により、総合的な評価を行う。詳細については、初回の授業で説明を行います。
使用する教科書 (必ず購入してください)	浅井春夫編著『シードブック子ども家庭福祉』（第二版）建帛社 2012年
参考文献	